

チャイルドシート使用性評価試験方法（旧試験方法）

1. 適用範囲等

この試験方法は、自動車事故対策機構（以下「機構」という。）が実施するチャイルドシート・アセスメント情報提供事業における試験のうち、国が定める安全基準又は欧米の安全基準に適合した乳児用及び幼児用のチャイルドシート（汎用または準汎用カテゴリーのものに限る。）の「チャイルドシート使用性評価試験」について適用する。

2. 用語の意味

この試験方法中の用語の意味は、次のとおりとする。

- (1) チャイルドシート：乳児用シート及び幼児用シートをいう。
- (2) 乳児用ベッド：乳児を連続した面上に寝かせた状態にして、拘束又は定着するための装置をいう。
- (3) チャイルドシートの区分：対象とする年少者の体重の範囲に応じて、表1のとおりとする。

表1 チャイルドシートの区分

区分	対象とする年少者の体重範囲 (kg)
乳児用シート	10未満又は13未満
幼児用シート	9以上 18以下

- (4) 前向き：自動車の進行方向に対して同方向の向きをいう。
- (5) 後向き：自動車の進行方向に対して逆方向の向きをいう。
- (6) 横向き：自動車の進行方向に対して直角方向の向きをいう。

3. 試験方法

試験をするチャイルドシートから、該当するタイプ（別紙1～3）の試験を行う。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
取扱説明書等	1	内容全体の理解のし易さ →レイアウトが良く簡潔でわかりやすい		・取付け及び装着について説明がある		←説明が不十分、又は輸入品については日本語訳がない
	2	図版の見やすさ、正確性 →図版だけでも理解できる →図版を中心に説明している	→図版を中心に説明している	・取付け及び装着について、図版と文章で理解ができる	←図版が少ない	←図版が不正確で製品とマッチしていない
	3	注意、警告の表記 →わかりやすい →警告、注意のページがあり、かつ使用方法の説明に沿って表記している	→使用方法の説明に沿って、注意、警告を表記している	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告の表記がある	←助手席装着時の警告しかない	←技術基準に定める表記がない
	4	子供の体格別の使用方法 →わかりやすい →体格に応じた肩の位置等の調整方法が説明されている →わかりやすい →体格に応じた肩の位置等の調整が説明されている	→肩の位置等に応じた調整が説明されている →肩の位置等に応じた調整が説明されている	・使用形態が子供の体格別に複数ある場合、取付け及び装着を体格別にくって説明している ・使用形態が単一である	←体格別にくらず、随時説明している	←体格別の説明かわかりづらい
	5	取り付け後の確認方法 →「定量的な確認方法」、及び「正しく取り付けていない場合の対処法」がある	→「定量的な確認方法」か、「確認方法と正しく取り付けていない場合の対処法」のどちらか一方がある	・取付け後の、具体的な確認方法がある	←確認方法が抽象的である	←確認方法がない
	梱包箱	6	梱包箱の表示の明確性 →わかりやすい →対象となる体重が表示され、目安となる身長、年齢が参考として表示されている	→対象となる体重、身長両方が表示されている	・対象となる体重、身長いずれかが表示(日本語)され、かつ技術基準に定める注意・警告等の表示及び適合基準表示がある	←技術基準に定める表示、又は適合基準表示がない

注:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が協議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
本体表示	1	取付け方法の明解性 →表示内容がわかりやすい(例:表示と実物の色が統一されている)	→取付ける際に確認しやすい位置に表示がある	・取付け方法の表示がある		←表示がない
	2	注意・警告の表示 →表示内容がわかりやすい	→取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示がある	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告がある	←助手席装着時の警告しかない	←表示がない
	3	言語の明解性 →表現が簡潔でわかりやすい		・表示の表現が適切で、誤解が生じにくい	←表示が見づらい(例:字が小さいなど)	←わかりづらい、誤解する表現である、日本語がない等、不適切である
	4	製品の問い合わせ先 →取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示され、かつ表示がわかりやすい	→取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示されているか、又は表示がわかりやすい	・製品の問い合わせ先(社名と電話番号)の表示がある	←電話番号がない	←表示がない
	5	適合基準の表示 →記号の説明が日本語でされている	→使用状態において見やすい位置に表示している	・製品が適合している基準の表示(記号でも可)がある		_____
	6	回転防止装置操作方法の明解性 →文字や図等を用い表示内容が分かりやすい →本体の取り付け向きの違いによるテザーストラップ通し位置の指示がわかりやすい →テザーストラップ張力計が見やすい位置にあり、かつ、表示の意味がわかりやすい		・基準に定める表示がある	←文字や図等の表示内容が分かりにくい ←テザーストラップ通し位置の表示がわかりにくい ←テザーストラップの張力計が見にくい位置にあり、かつ表示の意味が分かりにくい	_____

注:この他、個別具体的な事例に応じ、担当専門家が協議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
本体機構	可動機構等	1 リクライニングの操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・後向き等、操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある
		2 回転の操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある、又は回転機能を確認しようとする取付の固定状態が低下する
		3 ISO-FIXラッチシステムおよび(トップテザー又はサポートレグ)座席回転防止機構の操作性	→アームガイドの装着方向が分かりやすい →アームの長さ調整が操作しやすい →サポートレグの操作がしやすい →テザーストラップの通し位置が分かりやすく操作がしやすい →リリース機構の操作方法が分かりやすく、大人が操作しやすい位置にある		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、使い方がわかりやすい		←誤った操作、装着をするおそれがある ←リリース機構が幼児の手の届く位置にあり、幼児の力でリリースできてしまう
	シートカバー	4 取付けの確実性	→簡単に取付けられる		・シートカバーを脱着した場合に、ハーネス等の取付けが間違えにくく、確実に取付けられる		←確実に取付けられない、又は間違えやすい
	収納部	5 取扱説明書、付属品の収納	→取り付けた状態で簡単・確実に収納でき、脱落・紛失のおそれがない	→わかりやすい位置にあり、出し入れが容易	・取扱説明書及び付属品(ある場合)の収納部がある	←取扱説明書、付属品のどちらかの収納部がない	←収納部がない

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
取付性	固定の確実性	1 自動車座席側取り付け具(アンカー)とアーム	→ロックされたことが表示、音および手の感覚のすべてにより確認できる	→ロックされたことが表示による確認に加えて、音又は手の感覚のいずれかにより確認できる	・ロックされたことが表示により確認できる	←ロックされたことが音又は手の感覚のいずれかで確認できる	←ロックされたことがわかりづらい ←ロックされたことの表示が見えにくい位置にある
		2-1 ベースと本体(ベツト)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		・本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		←本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい
		2-2 ベースと本体(後向)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		・本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		←本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい
		2-3 ベースと本体(前向)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		・本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		←本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい
		3-1 サポートレッグ	→確実に固定でき確実にロックしたことが表示で確認できる		・確実に固定することができる		←高さ調整幅が広く固定しづらい
回転防止装置	3-2 テザーストラップ	→張力の調整がしやすく、張力が適切になったこととそれを示す表示と一緒に確認できる →張力の解除の操作がしやすい		・張力調整装置及び張力解除装置がある ・張力が適切になったことを示す表示がある		←張力の調整がしづらい ←張力解除の操作がしづらい ←張力を調整することにより張力が適切になったことを示す表示が見づらい	
	4 シートバック角度(後向)	→リクライニング機構により45度±5度未満に調節でき、かつ、45度であることが表示等により確認できる		・45度±5度未満		←45度±10度以上	

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
装着性	ハーネス	1 高さ調節	→調節が簡単で間違えにくく、確実に固定できるもの(例:切欠き付きハンガーを利用したもので調節しやすいもの) →ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が容易に行えるもの		・調節ができ、カバーの穴とスロット位置が適切 ・ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が行えるもの		←調節できない、又は極めて調節が難しいもの、もしくは誤使用を招くほどカバーの穴とスロット位置がずれているもの ←ハーネスカバー、肩パットの取付が難しいもの又は紛失しやすいもの
		2 長さ調整(ハーネスの残りシロ等)	・調節が簡単に行える(例:使用しやすいアジャスター式のもの、ELR式のもの)		・調節が行える	←アジャスター式でも、操作しにくいもの	←調整操作が複雑なもの(例:金具にベルトを通して固定するもの)
	バックル	3 操作性	→ロック完了が音、手の感覚、及び表示で確実に確認できる →2個1ロック方式のもの	→ロック完了が音、手の感覚、又は表示で確実に確認できる	・確実にロックでき、かつ正しくない差込方向が発生しない ・片側ロック方式でないもの	←正しくない差込方向が発生する	←ロックの状態に不安がある(例:ロック時もガタつきが大きい、ロックが不適切でも見分けが困難)
		4 解除性(解除時の力を計測)	→形状も子供が解除しにくいよう工夫されている →片手ワンタッチ解除ができる		・子供が解除しにくい解除力(40N以上)である		←解除力が弱く子供が解除しやすい(40N未満)
	着座状態	5-1 所要時間F(前向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
		5-2 所要時間R(後向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
		5-3 所要時間S(横向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる

注1: 前向きは3歳児ダミーを用いて、後向きは9か月ダミーを用いて、横向きは0歳児ダミーを用いて判定する。

注2: この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、わかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
取扱説明書	1	内容全体の理解のし易さ →レイアウトが良く簡潔でわかりやすい		・取付け及び装着についての説明がある		←説明が不十分、又は輸入品については日本語訳がない
	2	図版の見やすさ、正確性 →図版だけでも理解できる →図版を中心に説明している	→図版を中心に説明している	・取付け及び装着について、図版と文章で理解ができる	←図版が少ない	←図版が不正確で製品とマッチしていない
	3	注意、警告の表記 →わかりやすい →警告、注意のページがあり、かつ使用方法の説明に沿って表記している	→使用方法の説明に沿って、注意、警告を表記している	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告の表記がある	←助手席装着時の警告しかない	←技術基準に定める表記がない
	4	子供の体格別の使用方法 →わかりやすい →体格に応じた肩の位置等の調整方法が説明されている →わかりやすい →体格に応じた肩の位置等の調整が説明されている	→肩の位置等に応じた調整が説明されている →肩の位置等に応じた調整が説明されている	・使用形態が子供の体格別に複数ある場合、取付け及び装着を体格別に詳しく説明している ・使用形態が単一である	←体格別にくらぶ、随時説明している	←体格別の説明かわかりづらい
	5	取り付け後の確認方法 →「定量的な確認方法」、及び「正しく取り付けていない場合の対処法」がある	→「定量的な確認方法」か、「確認方法と正しく取り付けていない場合の対処法」のどちらか一方がある	・取付け後の、具体的な確認方法がある	←確認方法が抽象的である	←確認方法がない
梱包箱	6	梱包箱の表示の明確性 →わかりやすい →対象となる体重が表示され、目安となる身長、年齢が参考として表示されている	→対象となる体重、身長両方が表示されている	・対象となる体重、身長いずれかが表示(日本語)され、かつ技術基準に定める注意・警告等の表示及び適合基準表示がある	←技術基準に定める表示、又は適合基準表示がない	←対象となる体重、身長が表示がない

注:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
表示内容	1	取付け方法の明解性 →表示内容がわかりやすい(例:表示と実物の色が統一されている)	→取付ける際に確認しやすい位置に表示がある	・取付け方法の表示がある		←表示がない
	2	注意・警告の表示 →表示内容がわかりやすい	→取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示がある	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告がある	←助手席装着時の警告しかない	←表示がない
	3	言語の明解性 →表現が簡潔でわかりやすい		・表示の表現が適切で、誤解が生じにくい	←表示が見づらい(例:字が小さいなど)	←わかりづらい、誤解する表現である、日本語がない等、不適切である
	4	製品の問い合わせ先 →取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示され、かつ表示がわかりやすい	→取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示されているか、又は表示がわかりやすい	・製品の問い合わせ先(社名と電話番号)の表示がある	←電話番号がない	←表示がない
	5	適合基準の表示 →記号の説明が日本語でされている	→使用状態において見やすい位置に表示している	・製品が適合している基準の表示(記号でも可)がある		←表示がない
ベルトガイド	6-1	ベルト通し位置 F(前向) →文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない
	6-2	ベルト通し位置 R(後向) →文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない
	6-3	ベルト通し位置 (ベッド) →文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない

注:この他、個別具体的な事例に応じ、担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
本体機構	可動機構	1 リクライニングの操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・後向等、操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある
		2 回転の操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある、又は回転機能を確保しようとする取付の固定状態が低下する
		3 サポートレッグ固定の確実性	→サポートレッグの操作がしやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、使い方がわかりやすい	←高さ調整の位置がわかりにくい	←誤った操作、装着をするおそれがある
	シートカバー	4 取付けの確実性	→簡単に取付けられる		・シートカバーを脱着した場合に、ハーネス等の取付けが間違えにくく、確実に取付けられる		←確実に取付けられない、又は間違えやすい
	収納部	5 取扱説明書、付属品の収納	→取り付けた状態で簡単・確実に収納でき、脱落・紛失のおそれがない	→わかりやすい位置にあり、出し入れが容易	・取扱説明書及び付属品(ある場合)の収納部がある	←取扱説明書、付属品のどちらかの収納部がない	←収納部がない

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
ヘルムレー テイング	1-1	ベルトの 取回し性 F(前向) →間違えない、かつ車両 側ベルトのねじれや折れ がないことを確認しやすい		・間違えにくく、通しやす い、かつ、車両側ベルトの 不自然なねじれや折れが 発生しない	←通しにくい	←間違えやすい、又は車 両側ベルトのねじれや折 れが発生する
	1-2	ベルトの 取回し性 R(後向) →間違えない、かつ車両 側ベルトのねじれや折れ がないことを確認しやすい		・間違えにくく、通しやす い、かつ、車両側ベルトの 不自然なねじれや折れが 発生しない	←通しにくい	←間違えやすい、又は車 両側ベルトのねじれや折 れが発生する
	1-3	ベルトの 取回し性 (ベッド) →間違えない、かつ車両 側ベルトのねじれや折れ がないことを確認しやすい		・間違えにくく、通しやす い、かつ、車両側ベルトの 不自然なねじれや折れが 発生しない	←通しにくい	←間違えやすい、又は車 両側ベルトのねじれや折 れが発生する
取 付 性 固定の 確実性	2-1	ベルトの 増し締め F(前向) →本体に体重をかけず に、一人で容易に確実な 増し締めができる		・本体に体重をかけて、一 人で容易に確実な増し締 めができる		←一人で増し締めがしづら い
	2-2	ベルトの 増し締め R(後向) →本体に体重をかけず に、一人で容易に確実な 増し締めができる		・本体に体重をかけて、一 人で容易に確実な増し締 めができる		←一人で増し締めがしづら い
	2-3	ベルトの 増し締め (ベッド) →本体に体重をかけず に、一人で容易に確実な 増し締めができる		・本体に体重をかけて、一 人で容易に確実な増し締 めができる		←一人で増し締めがしづら い
	3-1	ベルト固 定のしや すさ F(前向) →ロック機構が内蔵型であ り、簡単かつ確実にロック できるもの	→ロック機構が内蔵型であ るが、ロックが簡単かつ確 実ではないもの	・固定金具などによって、 十分な固定ができる		←固定機能が十分でない もの、又は固定金具など が使いつらいもの
	3-2	ベルト固 定のしや すさ R(後向) →ロック機構が内蔵型であ り、簡単かつ確実にロック できるもの	→ロック機構が内蔵型であ るが、ロックが簡単かつ確 実ではないもの	・固定金具によって、十分 な固定ができる ・固定用ガイド、クリップに よって、十分な固定がで きる		←固定機能が十分でない もの、又は固定金具が使 いつらいもの
	3-3	ベルト固 定のしや すさ (ベッド) →ロック機構が内蔵型であ り、簡単かつ確実にロック できるもの	→ロック機構が内蔵型であ るが、ロックが簡単かつ確 実ではないもの	・固定金具によって、十分 な固定ができる		←固定機能が十分でない もの、又は固定金具が使 いつらいもの
	固定の 確実性	4-1	取付け後 の判定 F(前向) →取付け後にCRS上端を 10kgfで引き寄せた時に3 cm未満の移動である	—	・取付け後にCRS上端を 前方向に10kgfで上部を 引き寄せた時、5cm未満の 移動量である	←移動量が5cm以上10cm 未満
4-2		取付け後 の判定 R(後向) →45度±5度未満(車両 シートとの間に何もかませ なくとも約45度が達成可 能)	—	・取付け後のシートバック 角度が適切と確認できる	—	←45度±10度以上
4-3		取付け後 の判定 (ベッド) →取付け後にCRS上端を 進行方向に10kgfで引き寄 せた時、3cm未満の移動 量である	—	・取付け後にCRS上端を 進行方向に10kgfで上部 を引き寄せた時、5cm未満 の移動量である	←移動量が5cm以上10cm 未満	←移動量が10cm以上

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
装着性	ハーネス	1 高さ調節	→調節が簡単で間違えにくく、確実に固定できるもの(例:切欠き付きハンガーを利用したもので調節しやすいもの) →ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が容易に行えるもの		・調節ができ、カバーの穴とスロット位置が適切 ・ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が行えるもの		←調節できない、又は極めて調節が難しいもの、もしくは誤使用を招くほどカバーの穴とスロット位置がずれているもの ←ハーネスカバー、肩パットの取付が難しいもの又は紛失しやすいもの
		2 長さ調整(ハーネスの残りシロ等)	・調節が簡単に行える(例:使用しやすいアジャスター式のもの、ELR式のもの)		・調節が行える	←アジャスター式でも、操作しにくいもの	←調整操作が複雑なもの(例:金具にベルトを通して固定するもの)
	バックル	3 操作性	→ロック完了が音、手の感覚、及び表示で確実に確認できる →2個1ロック方式のもの	→ロック完了が音、手の感覚、又は表示で確実に確認できる	・確実にロックでき、かつ正しくない差込方向が発生しない ・片側ロック方式でないもの	←正しくない差込方向が発生する	←ロックの状態に不安がある(例:ロック時もガタつきが大きいため、ロックが不適切でも見分けが困難)
		4 解除性(解除時の力を計測)	→形状も子供が解除しにくいよう工夫されている →片手ワンタッチ解除ができる		・子供が解除しにくい解除力(40N以上)である		←解除力が弱く子供が解除しやすい(40N未満)
	着座状態	5-1 所要時間F(前向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
		5-2 所要時間R(後向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
		5-3 所要時間S(横向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる

注1: 前向きは3歳児ダミーを用いて、後向きは9ヵ月ダミーを用いて、横向きは0歳児ダミーを用いて判定する。

注2: この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、わかりやすい、容易、確実もの等は加点(+2まで)する。